

第49回

国土地理院報告会

参加
無料

測る描く守る伝える

オンライン開催

測量CPDプログラム

2021年

1/10 ① ~ 2/10 ②

国土地理院では昭和47年(1972年)からこれまで毎年度、測量・地図をベースとした地理空間情報に対する理解を深めることを目的に、国土地理院の最新施策を紹介するとともに、関連分野の有識者の特別講演をおこなう「国土地理院報告会」を実施しています。

第49回目の開催となった今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場をオンラインとして、講演動画をオンデマンド配信いたします。期間中はいつでも、どなたでも、どこからでも無料でご覧いただけます。この機会に是非ご参加ください。

参加方法

国土地理院ホームページ内、「第49回国土地理院報告会」ページより参加登録

<https://www.gsi.go.jp/REPORT/HAPPYYOU/main49.html>

2021年1月10日午前0時より参加受付、配信開始

※インターネット環境が必要です。



特別講演

高精度測位社会を支える測位環境の実現

— 準天頂衛星システム「みちびき」の役割と効果 —

佐田 達典氏 (日本大学理工学部 教授)

近年、世界各国での測位衛星 (GNSS) の整備が進んでいます。

我が国においても2018年に独自の衛星測位システムである準天頂衛星システム「みちびき」が4機体制で運用が開始され、私たちが普段利用しているスマートフォンやカーナビなどの位置情報にも活用されはじめており、豊かで便利な生活、【高精度測位社会】の実現が迫っています。

本講演では、「みちびき」が高精度測位社会で果たす役割と効果についてご紹介します。

第49回国土地理院報告会 テーマ

「測る」「描く」「守る」「伝える」について

国土地理院は、すべての測量の基礎となる基本測量を実施する機関です。

その責務は、社会のもっとも基盤的な情報である国家基準点や行政界、主要な地形・地物・地名などの地理空間情報の整備維持管理であり、国家行政の基礎的事業を担っています。

国土地理院はその責務を全うするため、以下の4本の施策を柱として業務を実施しています。



「国土を測る」：地球上における日本列島の正確な位置を求める。



「国土を描く」：すべての地図の基礎となる地図を作る。



「国土を守る」：最新技術を活用して防災対策等を推進する。



「国土を伝える」：災害の備えとなる防災地理情報等を提供する。

講演テーマ：測る

- ・ i-Construction 推進のための公共測量作業規程の準則の一部改正

前田 比呂明／企画部 技術管理課長

- ・ 高精度測位社会の未来に向け進化する GEONET

檜山 洋平／測地観測センター 電子基準点課長

講演テーマ：描く

- ・ 国土地理院の3次元地図に関連した取組の紹介

笹川 啓／基本図情報部 地図情報技術開発室長

- ・ 世界とともに地図をつくる

藤村 英範／地理空間情報部 企画調査課長

講演テーマ：守る

- ・ 浸水判読をどこまで速くできるか～時間と精度の両立に向けて～

岩橋 純子／地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室 主任研究官

講演テーマ：伝える

- ・ 防災・減災に役立つ地理空間情報

齋藤 俊信／応用地理部 地理調査課長

- ・ 地理空間情報活用推進のための国・地方公共団体等との連携に関する今後の展望

船津 裕司／地理空間情報部 電子国土調整官



お問い合わせ先

国土地理院報告会事務局（企画部企画調整課）

E-mail gsi-houkokukai@gxb.mlit.go.jp